

寒さは厳しくはなかったが長かった。そんな冬も終わった。
認知症の診断と治療にコウノメソッドを用いている。

数千人の患者さんを診る中で編み出した名古屋フォレストクリニックの河野先生の独自の診療法だ。彼の多くの著書を繰り返し読み、まとめて必要な患者さんに用い、私なりに評価し理解し経験を蓄えてきた。

認知症の中核症状の進行を抑制し、周辺症状を漢方の陰陽として捉え診療する。元々漢方を学んできた私にはしっかり理解できる方法だ。

患者さん本人の詳しい情報を家族から聞き取り、問診票を書いていたが、診察し、判断し、これぞという薬を用いる。

目標の第一は患者さん本人を落ち着かせて家族の介護負担を減らすことだ。本人に合うよう薬の量と種類を微調整する。時間はかかるが、患者さんの症状が安定するにつれ家族の疲労が減り笑顔が出る。

上手くいった時には内科医としての仕事のやり甲斐を強く感じさせてくれる疾患だ。

ハーブ内科皮フ科 理事長 竹内 秀俊

頭の体操コーナー ※もん学習療法を「頭の体操」と呼んでいます。



学習療法(頭の体操)をするようになって、まだ1年もたっていませんが、やればやるほどとても面白い！という感想を持ちます。取り組む利用者様の様子は一人ひとり違って、学習療法をより楽しく喜んで取り組んでもらうにはどうすればよいか？と考えながら私も取り組んでいます。

学習療法を行っている間は、目の前の利用者様と向き合ってじっくり関わることが出来るので思わず皆さんの昔話に夢中になっていることもしばしば…。でも、人生の大先輩の皆さんのお話は新鮮さでいっぱい私の方も日々勉強させられています！(頭の体操を支援するスタッフは学習療法士の資格を持っています。)

【回想法デイサービス】



ハーブデイサービスでは毎日40分間の集団体操を行っています。セラバンド・ボール・タオル・ラップの芯などの道具を使っての全身運動です。

60代～99歳のお方まで！参加されているんです。

歌を歌いながら体を動かしたり、ゲーム感覚の体操を取り入れることで、みなさん楽しみながら体を動かされています♪♪

デイサービスで心も体も元気になりましょう(^o^)

【訪問看護】

平成24年4月から介護職員等による喀痰吸引(たんの吸引、経管栄養)についての制度が始まりました。

それにともない、私たちも教員講習会に参加してきました。

医療的ケアであるため、安全に介護職員が患者様に喀痰吸引を行うことのできるよう、看護師として責任を持ち、改めて自分の看護知識を確認することができました。

安心してケアを受けていただけよう頑張っていきたいです。

ハーブのゆるキャラ
ちむロン♪です！



学習療法の効果や、ハーブでの取り組みをホームページで紹介しています。ぜひご覧ください。

ハーブ内科

検索

発行元: (医)ハーブ内科皮フ科/(株)ハーブライフケア
〒470-2206 知多郡阿久比町横松宮前 67
TEL 0569-49-2752/FAX 0569-49-2753